

青葉の丘 だより

《第245号》

介護老人保健施設
青葉の丘

TEL : 045-904-2255

FAX : 045-904-1511

www.aobanooka.com



「令和六年入所状況について…」

入所に関する問い合わせは、居宅事業所よりも医療機関からの方が多くありました。医療機関からの入所はスピードを求められることが多く、退院後の状態が不安定のままご案内させていただく方や、難病を抱えている方のご案内も増えております。

そのため退所先別では、医療機関の割合が三十三・六％と一番多く、次いで在宅に復帰される方が約三十％です。介護度別では、平均三・四と、一年前より若干重くなりました。年齢別では、八十代と九十代の方を合わせて八割強を占めています。昨年との大きな違いは、在籍期間別で、六カ月未満の方が半数を超えていることです。

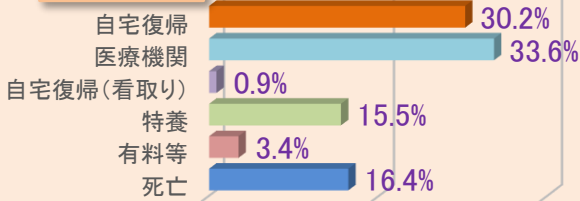
医療機関から退院された方は、今後の方向性を迷いながら老健に入所され、リハビリしながら施設生活を過ごし、さまざまな場所へと退所されます。これは国が示す、中間施設の役割として老健が求められていることでもあります。

また四月～六月は、横浜市緊急ショートステイ事業として輪番を担当し、数件の受け入れがありました。

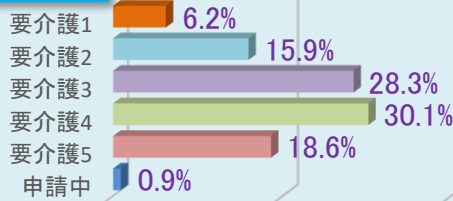
令和七年も、職員ひとりひとりが「感謝を伝えよう」をモットーに、努めて参ります。

管理次長 野田

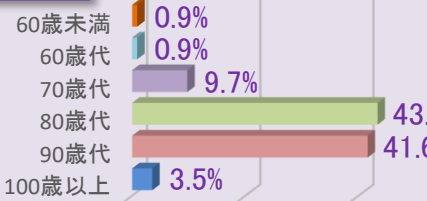
退所先別



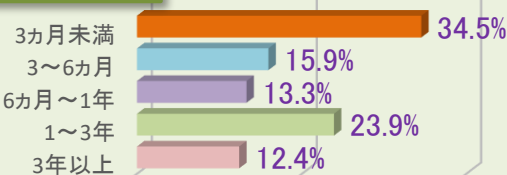
介護度別



年齢別



在籍期間別



看護課より

一月に三階フロアにて看護課主催の湯豆腐イベントを行いました。女性の方は準備の段階からエプロンと三角巾を身に着けて、ワクワクした様子でした。特に最近暗い表情でご飯を食べたくなかったおっしゃっていたある利用者様は、今までにないほど終始笑顔で参加されていたのがとても印象的でした。自分が食べる事よりも家族に食べさせたいという気持ちを思い出されたようでした。

また、鍋奉行の男性の方は手と顔を近づけ、頃合いを見定めて皆さんに湯豆腐を勧めて下さいました。心も体もポカポカ、湯豆腐イベントは大盛況でした！延期となっていた二階フロアでの湯豆腐イベントは三月三十日に行う予定となっています。普段とは違った利用者様の一面が見られることを私たち職員も楽しみにしています。



リハビリ課より

三月になり暖かくなってきました。気持ちのよい季節なのに辛いのが花粉症ですね。今回は花粉症体操のご紹介です。花粉症の症状を和らげるには、

- ①両肩に両手を置き、肘で円を描くように肩から大きく回す。
- ②首を前後左右にゆっくりストレッチ、ゆっくり回す。
- ③鼻から吸って、鼻から吐く鼻呼吸。効果があるかは気持ち次第、自分次第というところでぜひお試しを！

三月二十七日(木)青葉の丘の作業療法士による、「フレイル」認知症と社会参加」を開催します。ご興味のある方はぜひご参加ください。

『健康寿命を延ばそう！！』
～フレイル予防の4つの柱～
③月27日(木)、フレイル予防講座その④を美しが丘西部地区センターにて開催します。参加希望の方は電話予約受付中です。青葉の丘へお申し込みください。

栄養課より

三月三日はひな祭りメニューでした。ちらし寿司の「寿司」という漢字には「寿を司る」という意味があるようです。そのため、ひな祭りには華やかで縁起の良いちらし寿司が好まれ、ひな祭りを祝う食べものとして定着していったと考えられています。皆さまお食事を見て、今日はひな祭りなのね！と季節や行事を感じられていました。



通所リハ課より

通所では、二月中旬にチョコババロアを作りました。今回は男性二人にお手伝いいただき、生クリームを絞り、カラフルなチョコリートを載せていただきました。あま〜い香りがフロアに広がり、皆さん笑顔で召し上がっていました。



職員紹介

- ①誕生日
- ②出身地
- ③好きなモノ
- ④嫌いなモノ
- ⑤趣味
- ⑥特技
- ⑦いま欲しいモノ BEST3
- ⑧メッセージ

介護課 金枝 篤

①8月20日 ②青森県 ③ラーメン ④納豆
⑤釣り ⑥サッカー ⑦1位・PS5/2位・犬/3位・バイクの免許 ⑧入職からもうすぐ1年になります。これからも初心を忘れずに頑張りたいと思います。宜しくお願い致します。

相談支援課 相談員 松日樂 翔平

①12月21日 ②町田市 ③甘い物・温泉etc.
④過度な人混み ⑤カラオケ・キャンプ・スキー・サバゲー ⑥歌・料理
⑦1位・マイホーム/2位・怪我をしない体/3位・ミラコスタの宿泊券 ⑧相談員としてはまだまだヒヨッコですが、皆様が安心して過ごしていただけるよう、努めてまいります。

つばやき

日本人は「ティッシュペーパー」消費量が世界一！1人あたり年間で4.5kg、ボックスティッシュでいうと17箱になります。これは2位のアメリカの3倍の量です。その理由の一つは、外国人に比べて角質層が薄く、柔らかく質のいいティッシュを使わなければ、すぐに肌を傷めてしまうからです。さらに日本人には花粉症患者が多いというのも理由の一つと言われます。まだまだ花粉の多い時期は続きます。我が家でもティッシュは常時4か所以上に置いてあり、ティッシュがない生活は考えられません。No Tissue, No Life!! (小原沢)

